

医療と介護の連携への取り組み(石川県白山市)

医療と介護の連携のための、「在宅連携委員会」の立ち上げ (平成24年度)



医師会・介護支援専門員協会が、白山市・野々市市の2市による組織となっているため、両包括が共同で実施することにより、医師とケアマネジャーの連携づくりの支援。

今までは、年1回の
「医療と介護のシンポジウム」
両包括で実施

今まで、4年間も
行ってきたのに、
医師とケアマネの
具体的な連携に繋
がっていない！！



在宅連携委員会の開催
委員会の中で具体的な連携方法の検討

医師会・介護支援専門員協会・訪問看護・包括支援センター
計19名 他オブザーバー参加あり

【検討内容】

- ・医師とケアマネジャー他多職種の連携の場づくり
⇒シンポジウム・研修会
- ・かかりつけ医とケアマネジャーの情報交換の方法の検討
⇒連絡票の作成



在宅連携委員会(6月開始)



医師とケアマネの事例検討

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①区町村名	白山市
②人口（※１）	１１３，０７４人 平成２５年４月１日現在 ()
③高齢化率（※１） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上高齢化率 22.5% () 75歳以上高齢化率 10.6%
① 取組の概要	医療と介護の連携を図るため、医師を含む委員会を立ち上げ、具体的な在宅連携のための検討を行なう。
⑤取組の特徴	在宅連携における主要組織の医師会や介護支援専門員協会が２市（白山市・野々市市）に及んでおり、両地域包括支援センターと共同での取り組みとして実施。
⑥開始年度	平成２４年度
⑦取組のこれまでの経緯	ケアマネジャー支援として、医師との連携を図るための「医療と介護のシンポジウム」を４年間に渡り実施し、医師との連携の場を設けてきたが、連携としての具体的な取り組みがなかなか進まない状況であった。
⑧主な利用者と人数	【在宅連携委員会】 医師７名 介護支援専門員５名 訪問看護ステーション２名 野々市市地域包括支援センター２名 白山市高齢者支援センター３名 オブザーバー参加 数名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	白山市高齢者支援センター・野々市市包括支援センター 白山ののいち医師会・介護支援専門員協会 白山・野々市支部 白山松任訪問看護ステーション・野々市訪問看護ステーション
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	事務局（予算措置なし）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	
⑫取組の課題	・多職種連携のために必要なこと ・かかりつけ医とケアマネジャーの情報交換の方法
⑬今後の取組予定	白山支部での取り組みを内容を充実させ、さらに圏域ごとの多職種連携会議の実施を検討中。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	白山市高齢者支援センター ０７６－２７６－６２００

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。